

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931(担当：橋本)
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

事故事例

第75号 平成23年12月

12月9日の夕方、Aさん(68歳男性)はプレジャーボート(5.3m、船外機付)に1人で乗船し、沖合で遊漁を楽しんだ後、帰港するため、船尾甲板



事故状況を再現する海上保安官

に腰掛け、右手で船外機の操縦レバーを握って速力約3ノットで航走していましたが、物を取ろうと腰を浮かしたところ、バランスを崩し操縦レバーを右舷側に押す格好となりました。このため、船は急旋回し、岩場が点在する場所であったため岩に衝突してしまいました。船については、損傷が軽微なことから自力にて定係地に戻りましたが、この衝撃でAさんは顔面打撲、全治10日間のけがを負いました。(救命胴衣着用)

事故からの教訓

海では、波浪による動揺や漂流物との接触等ちょっとしたことが大きな事故に繋がる場合があります。不安全な要素が潜んでいることに注意し、特に操船中は、不用意な行動は避けましょう。

こんな事故も起きてます

右の写真は山口県萩沖で発見された海上漂流物です。



円筒形漂流物 (φ80cm×3.6m)

平成23年11月プレジャーボート等海難発生隻数

計13隻	
衝突	2
乗揚	2
転覆	1
浸水	1
推進器障害	1
機関故障	4
運航阻害	2
安全阻害	0
その他	0

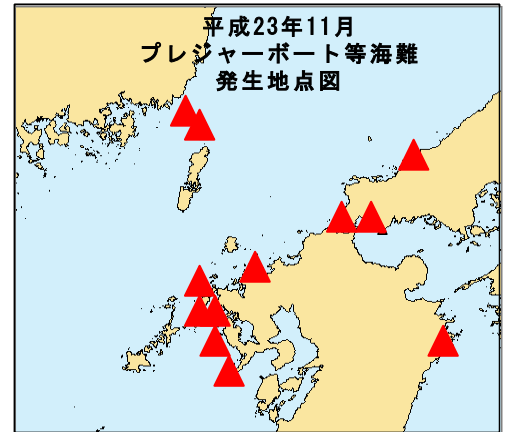
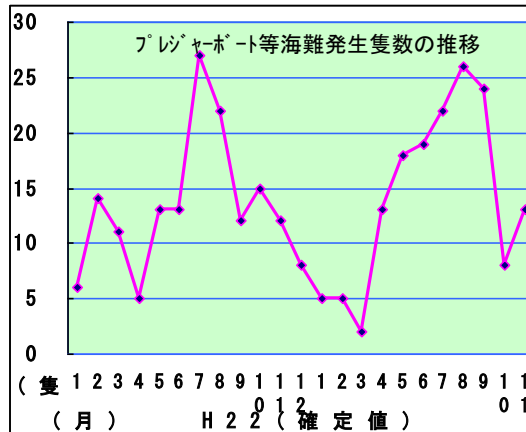
12月6日にこの漂流物の尖った部分に小型船が衝突し、船体に約3cmの穴があく事故が発生しています。船を航行する際には、その時の状況に適した見張りを励行し、安全運航を心がけましょう。

海へ出かける際は、自己の能力を過信せず、救命胴衣をきちんと着用し無理のない計画でマリンレジャーを楽しんで下さい。

平成23年11月マリンレジャーに伴う海浜事故者数

合計	9人(3人)
釣り中	8(3)
磯遊び	1

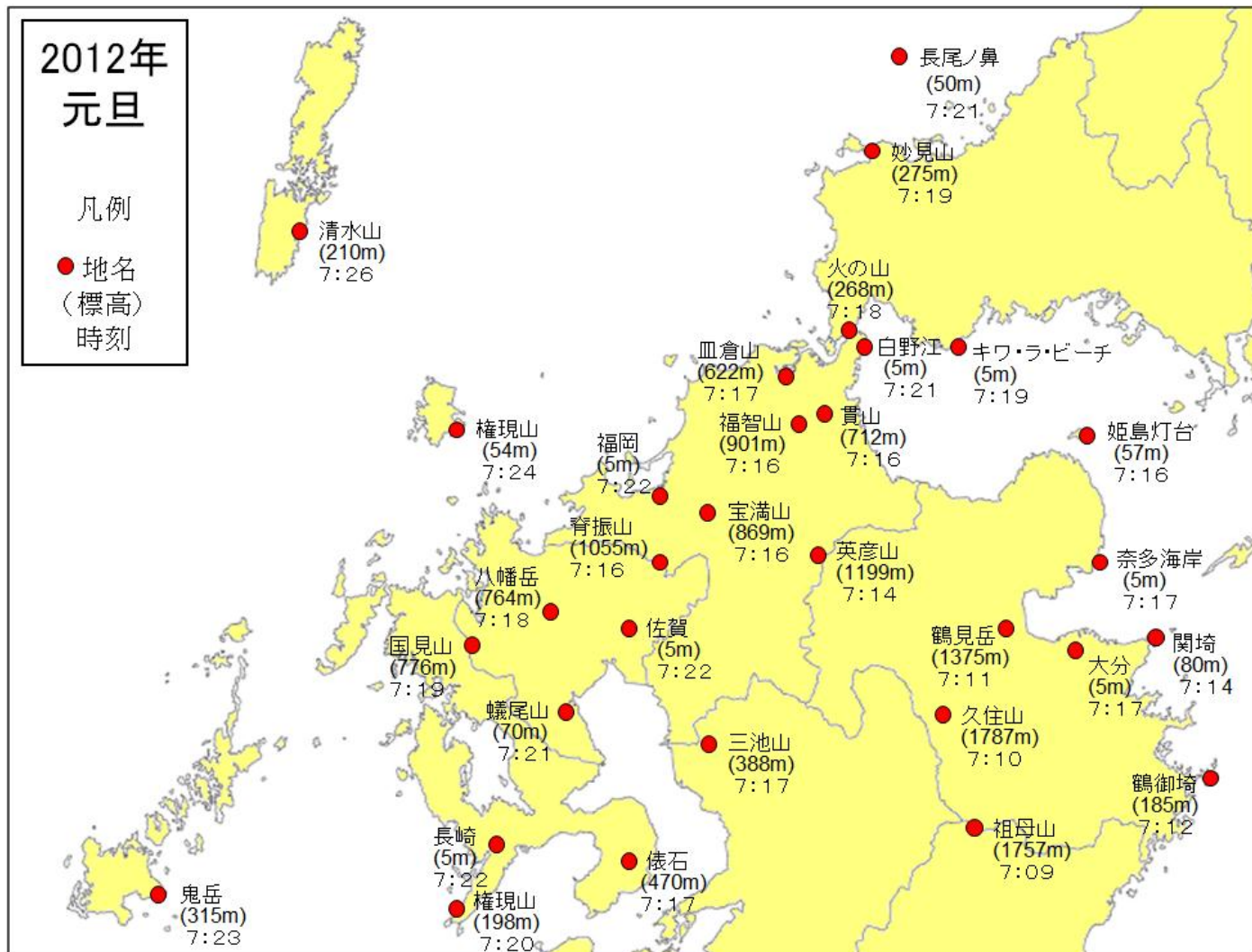
※()内は死亡・行方不明者数



海の相談室だより

2012年初日の出情報

第七管区海上保安本部「海の相談室」では、毎年末になると初日の出の時刻に関する問合せが多くなることから、管内の主な地点の初日の出の時刻をとりまとめました。



水平線から太陽が昇る姿を見ることができる場所において一番早い初日の出は、九州本島では宮崎県都井岬の 7:11、七管区管内では大分県鶴御埼の 7:12です。日出方向に山などの陸地が存在する地点では、実際に太陽が出現する時間は本情報より遅くなります。

太陽の昇る方位は東南東になります。北を 0° とする真方位では、右回りで 117° から 118° 度付近の方角です。

初日の出を見に行くために、暗い夜道や海岸を歩く際には、懐中電灯などの明かりで足元を照らし、転倒や海中転落などの事故防止に十分注意を払いましょう。

※ 海上保安庁では、船舶等が天体を利用して外洋を航海するための天文航法に必要な情報を「天測暦」として刊行しており、太陽、月、星などの天体の位置や各港の日出没時刻を掲載しています。